

平成 2 8 年度事業報告

I 法人本部業務

はじめに

平成 28 年 3 月の社会福祉法の改正を受けて、本年 4 月 1 日から経営組織のガバナンスの強化や財務規律の強化、会計監査人の設置など、社会福祉法人の法務、財務は大幅に変更された。この国レベルの改革潮流に加えて、当法人では、平成 28 年 6 月には横浜医療福祉センター港南を開設するとともに、9 月には横浜療育医療センターの増改築工事に着手、29 年 3 月末に竣工した。さらに、たちほどがやの分室として「たちいずみの」が 4 月に開所するなど、施設の新設や増改築等に伴う組織、財政の大幅な拡大、変更が生じている。

こうした法人を取り巻く急激な変化に適正に対応し、利用者が安全に、安心して医療福祉サービスを受けられるようにしていくためには、職員一人ひとりが改めて法人の基本理念、基本指針に立ち返り、確固たる使命感を持って業務遂行にあたる必要がある。

法人設立 30 周年を迎える本年を法人経営の「元年」として、役職員が一丸となって法人経営の充実、発展を実現していきたい。

1 経理部

(1) 施設・事業所の増加に対応した経理体制の整備及び会計処理の精度向上を図った。

横浜医療福祉センター港南の開設に伴い、経理拠点を新設し会計処理を行うとともに、拠点ごとに一層の精度向上に努めた。

(2) 各施設の資金需要に対応した資金計画の立案・実施を行った。

横浜医療福祉センター港南の立ち上げ時の運転資金需要に対処するため三菱東京 UFJ 銀行との間で借入契約を締結し実行している。

横浜療育医療センターの改修工事による建築・設備等の資金については、横浜市からの補助金に加えて独立行政法人福祉医療機構からの借入を行った。

また、横浜市社会福祉協議会の振興資金を借入れた。

(3) 社会福祉法人制度改革に対応する準備を開始した。

社会福祉法改正に伴い、当法人では平成 29 年度より会計監査人による監査が必要となるため、会計監査人候補者による予備調査を行った。

2 人事部

(1) 採用活動について

新施設開設にあたり法人としてはかつてない職員採用となった。

看護師については 75 名、支援員については 61 名、医療職 18 名（医師含）、事務員 8 名で合計 162 名の職員を採用した。辞退者が 31 名あったため実際には 193 名の採用を行ったことになる。このことにより新施設は若干の欠員はあるものの予定通り 2 病棟開設することができた。

(2) 研修の取り組み

前述の通り、法人としてかつてない採用数であったこともあり、例年の職員研修に加え、研修専門業者（ビジネスコンサルタント）に委託し、新入職員全員を対象に組織で働くプロとしての基礎研修を5日間の日程で行い、半年後の10月にはフォローアップ研修を行った。この研修により職員の定着を図ることを目的の一つとしていたが、研修を受講した職員の年度内離職は162名中5名で約3%の離職率であった。

(3) 人事考課制度について

人事考課制度は、前年度まで2年間の準備期間を経て本運用の年となる。初めてのこともあり、準備が間に合わず横療の引っ越しもあり、実際に目標面接に入れたのは7月からとなってしまった。考課期間が短かったが年度末には最終の人事審査委員会で確認され平成29年度の給与に評価が反映された。また、考課者研修については、被考課者研修1回、一次考課者研修4回、二次考課者研修1回行い、制度の理解を深めるとともに今後の円滑運用に向けて取り組んだ。

(4) 職員意識向上への取り組み

主任・副主任を対象に「マネジメントの理解と自己理解」「活性化した職場づくり」「人材育成」をテーマとして3日間に渡り研修を行い、職員意識向上へ向けてのリーダー層の意識啓発を図った。参加した職員の振り返りのコメントからは、前向きにリーダーシップをとることの重要性に気づけた等のコメントが多くあり職員意識向上につながる効果に期待できる取り組みであったと思われる。

II 横浜療育医療センター運営事業

大規模改修工事にともない7月1日より病院を休院し、長期入所者85名をセンター港南へ転院させた。7月4日に横療診療所を開設し、外来診療と生活介護は工事区画外のC棟エリアで継続した。建築および設備工事の入札を8月に実施し、9月に着工、大きな問題なく順調に進捗して3月末日に竣工、同日引渡しが行われた。

収支の面では、第一四半期は概ね予算通り経過したが、第二四半期以降は休院に伴い医療・福祉事業収入が著しく減少し、対して事務費・人件費支出の抑制が不十分で、年度事業収支は予算を下回る結果となった。

各部署の実績は以下の通りである。

1 居住支援

(1) 長期入所利用状況

		4月	5月	6月	合計
長期入所	A棟(26名)	780	806	780	2,366
	B棟(26名)	780	804	768	2,352
	C棟(33名)	990	1,023	973	2,986
	合計(85名)	2,550	2,633	2,521	7,704
	占有率(%)	100	99.9	98.8	99.6

(2) 日中活動

	4月	5月	6月	合計
長期入所者	245	261	239	745

2 在宅支援

(1) 短期入所利用状況

		4月	5月	6月	合計
短期入所	A棟(4名)	139	141	118	398
	B棟(4名)	139	142	129	410
	C棟(7名)	279	297	236	812
	合計(15名)	557	580	483	1,620
占有率(%)		123.8	124.7	107.3	118.7
申し込み		100	100	100	300
お断り		16	19	35	70

(2) 入院利用状況

	4月	5月	6月	合計
C棟(5名)	80	49	12	141
占有率(%)	66.7	31.6	8.0	31.0

(3) 生活介護(通所)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (平均)
在籍者数	47	47	47	44	43	43	43	43	44	44	44	43	(44.3)
通所日数	20	19	22	19	20	20	20	20	19	19	20	22	240
通所者数	384	338	379	317	333	320	343	327	325	336	331	354	4,087
欠席者数	54	78	73	61	75	83	66	83	78	65	71	103	890
1日平均通所者	19.2	17.8	17.2	16.7	16.7	16.0	17.2	16.4	17.1	17.7	16.6	16.1	(17.0)

4月新規利用者2名の受け入れをした。6～7月港南長期入所への移行者が6名あり、それぞれの入所日を以って通所退籍とした。8月には新規利用者2名の受け入れをした。

センター港南での短期入所により退所日にあたる日の通所利用が大幅に減り、また、センター港南外来受診による欠席者増加のため、7月以降出席率が下がった。

(4) 訪問看護ステーションえーる

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (平均)
新規	0	0	1	3	0	2	1	0	1	0	1	2	11
終了	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
契約総数	12	12	11	13	13	15	16	16	16	16	17	19	(14.7)
訪問数	41	36	41	39	46	54	58	52	57	52	61	69	606
キャンセル数	19	15	10	14	10	18	21	17	10	17	17	23	(15.9)
訪問リハ	3	3	2	3	3	3	3	3	2	5	4	4	(3.2)

年明けから新規契約が3件増え、これに伴って訪問数も増えた。

(5) 医療福祉相談室

①相談業務等

【障害種別】

延べ件数	4月	5月	6月	合計
重症心身障害	13	20	30	63
知的障害	0	2	1	3
身体障害	0	1	1	2
発達障害	0	1	1	2
その他	0	0	1	1

【相談内訳】

延べ件数	4月	5月	6月	合計
自施設の利用相談等	4	15	24	43
生活上の相談	1	2	0	3
関係機関との連絡調整	8	9	10	17
家族・人間関係	0	0	0	0
健康・医療相談	3	1	0	4
社会資源活用支援	0	20	3	23

短期利用の港南の問い合わせが多かった。

3 診療事業

(1) 人員体制：

①医師

4月にセンター長が交代した。センター港南の開設により、4～6月に4名の医師が港南に異動。横浜療育医療センター休院に伴い、7月1日に6名の常勤医師がセンター港南に異動した。7月からの横療診療所は、診療所長1名とセンター港南からの出張医師5名が交替で運営。

②外来看護師：課長1名、非常勤 11名（生活介護・病児保育室、訪問看護ステーションも兼務）

(2) 外来診療状況（リハビリ、歯科含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診療日数	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	20	21	242
小児科	580	563	269	143	152	145	145	170	154	160	129	158	2,768
内科	352	324	377	317	331	314	335	323	313	325	319	351	3,981
耳鼻咽喉科	75	47	30	36	13	25	29	18	19	22	22	29	365
リハビリ	921	935	900	-	-	-							2,756
整形外科	18	23	19	-	-	-							60
皮膚科	7	6	7	-	-	-							20
精神科	3	4	5	-	-	-							12
歯科	158	190	60	-	-	-							408
患者総数	2,114	2,092	1,667	469	496	484	509	511	486	507	470	538	10,370
1日の平均	105.7	110.1	75.8	24.8	22.5	24.2	25.5	25.6	25.6	26.7	23.5	25.6	42.9

外来はセンター港南開設にともない6月より大幅に縮小。診療所開設申請のため、外科系（耳鼻科・皮膚科）は6月14～30日休診した。7月1日の引越し当日は休診、7月4日より横療診療所として診療再開した。

横療診療所は、内科系および耳鼻咽喉科（週1回）の診療および生活介護の診療を行った。臨床検査技師・放射線技師・薬剤師は不在のため、救急対応や胃瘻・十二指腸チューブの交

換などを要する重症者は港南の外来通院となった。

周辺のグループホームや施設入所者の受診が増えており、各施設との連携強化を図った。

(2) リハビリテーション部門

①療法実績

		4月	5月	6月	合計
外来	理学療法	816	813	762	2,391
	作業療法	275	302	243	820
	言語聴覚療法/臨床心理	265	259	252	776
入所	理学療法	160	141	151	452
	作業療法	23	23	19	65
	言語聴覚療法/臨床心理	6	5	2	13

7月以降は訪問看護ステーションと連携して訪問リハ（3件/月）実施および通所中リハ実施（2回半日/週）のため理学療法士派遣を行った。

(3) 歯科

①外来実績

	4月	5月	6月	合計
新患者数	3	2	0	5
延べ患者数	158	190	60	408
平均/日	11.7	13.1	10	12
全身麻酔症例	0	0	1	1

②入所口腔ケア指導

	4月	5月	6月	合計
A棟	8	6	0	14
B棟	0	7	0	7
C棟	0	16	0	16

(4) 検査課

①院内 外来実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生化学	95	131	42	10	11	8	20	17	13	16	16	14	393
血液学	87	152	41	12	10	13	19	19	13	18	16	15	415
血中濃度	52	82	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160
血液ガス	7	30	2	1	0	2	2	0	0	0	2	0	46
血液型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尿定性	48	96	17	1	1	0	0	0	0	0	0	0	163
尿沈渣	48	96	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161
迅速検査	6	15	9	0	1	0	2	0	0	2	3	2	40
感染症	25	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	35
心電図	24	58	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94
脳波	21	19	1	0	0	0	—	—	—	—	—	—	41
CV-RR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

②院内 入院実績

	4月	5月	6月	合計
生化学	178	171	188	537
血液学	179	163	163	505
血中濃度	63	53	37	153
血液ガス	72	56	52	180
血液型	0	0	0	0
尿定性	60	44	23	127
尿沈渣	60	44	23	127
迅速検査	12	12	45	69
感染症	0	0	3	3
心電図	26	9	2	37
脳波	1	1	1	3
CV-RR	0	0	0	0

③外注検査実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	生化学	79	112	33	7	5	12	19	14	10	16	51	16	374
	特殊	79	145	44	7	3	9	16	14	11	13	16	11	368
	細菌	19	64	13	2	4	1	2	2	2	2	2	3	116
入院	生化学	99	81	71	—	—	—	—	—	—	—	—	—	251
	特殊	120	89	66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	275
	細菌	72	69	41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	182

(5) 放射線科

①外来実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
C T	18	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
一般撮影	69	100	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	187
一般ポータブル	7	14	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28
DR検査	13	13	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42
超音波	26	27	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78
歯科パントモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科デンタル	8	5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22

②入所・入院実績

	4月	5月	6月	合計
C T	31	37	21	89
一般撮影	1	3	0	4
一般ポータブル	178	111	85	374
DR検査	20	25	20	65
超音波	6	1	0	7
歯科パントモ	0	0	0	0
歯科デンタル	1	1	0	2

(6) 栄養課

①入所食数実績 及び その他

	4月	5月	6月	合計
経口食	2,977	3,012	2,961	8,950
胃瘻食昼	618	640	588	1,846
胃瘻食夕	60	62	65	187
経管栄養食	10,127	10,504	9,350	29,981
日中一時支援	3	6	2	11
嚥下外来食	0	0	0	0

②通所食数の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 7月除く	合計
経口食	164	140	164	221	141	124	146	138	121	132	135	149	1,554	2,738
胃瘻食	98	90	96		80	88	77	94	85	87	91	477	963	

経口食2名、胃瘻食1名は6月港南長期入所。6月胃瘻食1名（週2回利用）開始。
7月以降はたちほだやの厨房から給食を配送し提供している。（実績数7月のみが全数）
給食数は前年と変わらず2,700食台であった。

③特別治療食

	4月	5月	6月	合計
加算食	1,044	1,023	1,014	3,081

④外来栄養指導実績

	4月	5月	6月	合計
加算	6	0	0	6
非加算	0	0	0	0

4 施設管理業務

(1) 増築・改修工事の進捗状況

7月12日	建築・設備 入札 不調
8月19日	建築・設備 再入札 建築（安藤建設株式会社） 設備（エルゴテック株式会社）
9月1日	建築、設備着工
3月31日	竣工

平成28年9月から施工し、計画とおりに竣工した。

(2) 地域連携

ボランティア受け入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人実数	22	19	18	12	8	6	8	7	8	6	8	6	128
延べ回数	86	74	68	42	34	23	33	31	28	19	25	23	486
団体実数	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
延べ人数	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6

※7月個人実数は引越ボランティア6名含む

Ⅲ 横浜医療福祉センター港南運営事業

4月から入所受入れ体制を整え、5月12日の開所式、5月14日の内覧会を経て、予定どおり6月1日に開設し、第Ⅰ期入所者の受入れを始めた。7月には、横浜療育医療センターからの85名の長期入所者を受け入れ、短期入所も開始した。また、開設以来、不幸にして9名の長期入所者がお亡くなりになった。

収支については、予算に比べて医療事業収入の減が大きいですが、人件費及び事業費の支出が予算より低くなっているため、収支差額はプラスとなっている。

各部署の実績は以下の通りである。

1 居住支援

(1) 長期入所利用状況

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長期入所	1E棟	539	846	698	682	695	690	713	721	672	744	7,000
	(24名)											
	2E棟	-	343	799	834	868	860	949	961	868	961	7,443
	(32名)											
	2W棟	-	850	834	744	743	720	744	744	672	744	6,795
	(28名)											
	3E棟	-	888	851	870	899	870	899	899	804	899	7,879
	(29名)											
	3W棟	-	868	868	830	868	833	839	833	756	831	7,526
	(28名)											
合計	539	3,795	4,050	3,960	4,073	3,973	4,144	4,158	3,772	4,179	36,643	
(141名)												
占有率	12.7	86.8	92.7	93.6	93.2	93.9	94.8	95.1	95.5	95.6	85.5	
(%)												

平成28年6月1日より入所開始、現在までに新規入所56名と横浜療育医療センターの改修に伴う85名の入所により、占有率は開設2か月目に86.8%、9月には93.6%となった。年間平均は10か月で85.4%であった。

学齢期の入所者については、センター内の中村特別支援学校分教室に通学し、未就学児は、保育士や児童指導員、リハ課スタッフと一緒にリビングや散歩道、ひだまりルーム等に出掛ける活動している。

下半期は個別活動の一環として、港南台駅周辺へ買い物に行ったり、映画を見たりする活動も広げてきている。

日中一時支援事業は、年間71名であった。

(2) 日中活動

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動数	長期	30	228	387	577	580	606	457	561	581	594	5,182
	短期	-	0	10	39	42	39	23	37	52	44	286
	合計	30	228	397	616	622	645	480	598	633	638	5,468

6月・7月はリハビリテーション課職員と共に順次慣らし活動をはじめ、8月から固定グループによる活動を開始した。9月に入り、長期入所者は月6回程度、また、短期入所者の活動もスタートした。(年間通して286人の参加が来ている)

通常の活動メニューに加え、ボランティアによるピアノ演奏や他棟交流夏祭り、オープン活動(全員対象)を行った。(ネイル、クッキング活動等も行っている)

ボランティア参加人数が下半期で52人であった。

2 在宅支援

(1) 短期入所利用状況

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
短期入所	1E棟 (4名)	-	105	132	115	137	120	141	143	162	171	1,226
	2W棟 (4名)	-	92	143	150	138	117	152	175	142	135	1,244
	3E棟 (3名)	-	55	105	104	104	89	90	90	91	93	821
	3W棟 (4名)	-	87	144	129	140	117	107	108	114	131	1,077
	合計 (15名)	-	339	524	498	519	443	490	516	509	530	4,368
占有率(%)		-	72.9	112.7	110.7	111.6	98.4	105.4	111.0	121.2	114.0	95.8
申し込み			74	98	103	70	100	96	73	77	96	787
断り			21	27	30	3	18	16	2	0	16	133

横浜療育医療センターの短期入所枠(15床)と入院4床を合わせ19床で運用しているため占有率100%を超過しており、今後も引き続きの高水準を維持していく。

【利用者年齢別】 2～6歳 4名、 7～17歳 4名
18～19歳 22名、 20歳以上 166名

【重症児スコア】 超重症児者 18歳未満9名、18歳以上27名
準超重症児 8歳未満19名 18歳以上63名
重症児 18歳未満39名 18歳以上101名

港南は5歳以下の短期利用者の受け入れを開始1名利用できた。今後も5歳以下の利用希望はある。

(2) 入院利用状況

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1E棟 (4名)	-	8	54	79	64	66	64	45	49	61	490
占有率 (%)	-	6.5	43.5	65.8	51.6	55.0	51.6	36.3	43.8	49.2	40.3

(3) 医療福祉相談室

①相談業務等

【障害種別】

延べ件数	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
重症心身障害	7	6	10	5	13	9	13	15	9	12	99
知的障害	24	11	7	5	13	20	11	9	8	8	116
身体障害	11	4	0	2	9	3	12	9	6	5	61
発達障害	13	9	4	7	20	7	9	2	7	17	95
その他	31	3	4	2	2	2	1	1	1	0	47

【相談内訳】

延べ件数	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自施設の 利用相談等	82	13	13	8	22	43	8	11	8	7	215
生活上の相談	4	19	7	7	28	17	27	20	20	29	178
関係機関との 連絡調整	5	8	9	5	0	16	15	14	12	15	99
家族・人間関係	4	16	9	10	23	11	18	13	11	21	136
健康・医療相談	1	11	4	4	5	14	14	5	10	11	79
社会資源 活用支援	1	1	0	1	6	5	3	5	3	2	27

平成28年6月から相談室で初診受付、相談を開始したため、相談だけではなく、自施設受診につながる相談が多くなった。障害種別においても、発達障害、知的障害が多い傾向が伺える。

3 診療事業

(1) 外来・診療状況（リハビリ、歯科含む）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
診療科別患者数	診療日数	22	20	22	20	20	20	21	20	20	22	207
	小児・内科	323	767	553	553	519	627	766	597	598	735	6,038
	耳鼻咽喉科	9	34	29	28	39	38	48	44	50	69	388
	リハビリテーション	286	823	1,128	1,106	1,137	1,138	1,006	1,140	1,078	1,291	10,133
	整形外科	8	20	50	82	28	34	31	25	36	24	338
	皮膚科	0	11	8	8	9	5	8	7	8	7	71
	精神科	0	4	8	6	8	7	10	2	7	3	55
	歯科	114	162	247	252	288	310	240	277	329	344	2,563
	患者総数	740	1,821	2,023	2,035	2,028	2,159	2,109	2,092	2,106	2,473	19,586
	1日の平均	33	91	92	101	101	108	100	105	105	112	95
横療 昨年度実績	104	102	106	103	108	111	107	111	109	109	107	

横療の外来診療が6月で港南に移行し、「横療・港南」分で昨年度横療実績とほぼ同数となった。港南の患者数は横ばい状態であり、予算比マイナスのため今後は新規患者の掘り起こし等、受け入れ者の拡充が課題となる。

(2) リハビリテーション部門

①POS心理個別療法延患者数実績

() は横療の前年度実績を表示

	P T		O T		S T・心理		計		総計
	外来	入所	外来	入所	外来	入所	外来	入所	
6月 横療 港南	762 (804)	151 (229)	243 (418)	19 (32)	252 (315)	2 (9)	1257 (1537)	172 (270)	1754 (1807)
	64	64	60	52	27	58	151	174	
7月	681 (859)	185 (207)	343 (430)	57 (28)	270 (343)	59 (9)	1294 (1632)	301 (244)	1595 (1876)
8月	799 (761)	318 (157)	468 (337)	63 (26)	353 (349)	28 (15)	1620 (1447)	409 (198)	2029 (1645)
9月	785 (763)	247 (154)	439 (269)	60 (17)	385 (318)	26 (12)	1609 (1350)	33 (183)	1942 (1533)
10月	748 (816)	205 (148)	468 (338)	70 (27)	368 (331)	27 (7)	1584 (1485)	302 (182)	1886 (1667) 113%
11月	742 (794)	216 (122)	499 (311)	59 (23)	407 (323)	203 (10)	1648 (1428)	298 (155)	1946 (1583) 123%
12月	818 (767)	242 (166)	495 (299)	38 (25)	396 (348)	35 (10)	1709 (1414)	315 (201)	2024 (1615) 125%
1月	781 (749)	283 (165)	515 (360)	60 (24)	405 (267)	25 (18)	1701 (1376)	368 (201)	2069 (1583) 131%
2月	773 (830)	322 (190)	503 (351)	59 (26)	405 (348)	34 (2)	1681 (1529)	415 (218)	2096 (1747) 120%
3月	880 (882)	393 (198)	564 (379)	49 (26)	477 (378)	42 (5)	1921 (2639)	484 (229)	2405 (1868) 129%
合計	7833 (8025) 98%	2626 (1736) 151%	4597 (3492) 132%	586 (254) 231%	3745 (3320) 113%	539 (97) 556%	16175 (15837) 102%	3271 (2081) 157%	19746 (16924) 117%

※6月のみ上段：横療・下段：港南 7月以降 () 内は昨年度横療実績
当初は130%の実績増を見込んだが、3月に到達した。

②その他の取り組み

- ・外部施設スタッフ派遣前年度と同じ、出前介助講習（8件）
- ・横療通所へのPT派遣（週2日1名）
- ・あおばに応援派遣（週一日×PT3名）
- ・業務派遣（都立町田の丘特別支援学校、訪問の家（朋）、かがやき、幹）

新規患者数

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
PT	316	202	47	30	9	23	10	13	20	17	595
OT	224	105	36	33	20	25	17	12	15	14	398
ST	152	98	29	21	12	17	14	17	13	17	300
心理	43	29	5	4	8	10	7	6	3	15	81

横療からの以降は9月にはほぼ完了し、10月以降は単純な新患増であった。横療の例年と比較するとOTは4割程度、STは3割程度上回っている。

(3) 歯科

①歯科外来実績（再掲）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新患者数	12	14	12	8	7	9	12	8	7	14	103
延べ患者数	115	162	252	247	288	310	243	276	329	344	2221
平均/日	10.5	9.0	11.5	11.8	14.4	14.8	13.5	14.5	17.3	16.3	13.4
全身麻酔症例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静脈内鎮静法（人）	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
前投薬+笑気（人）	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2

※6/13 から診療を開始した。（横療歯科室を利用しての2診体制）

※新患には港南長期入居者も含む

※障害者支援センターの巡回相談を一回行っている。（2/16 DH2人）

※10月～3月までで笑気吸入鎮静を35名74回実施

※必要に応じてSpO2 HRモニターを装着し、全身状態を観察しながら行っている。

②入所口腔ケア指導

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1e棟	0	10	9	7	11	2	0	8	12	11	70
2e棟	0	16	5	12	11	2	0	8	17	14	85
2w棟	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	13
3e棟	0	0	0	0	13	15	12	10	10	0	60
3w棟	0	0	14	14	13	12	11	0	0	0	64

(4) 検査課

①院内 外来実績

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生化学	11	45	45	37	41	29	42	29	47	66	392
血液学	12	47	50	37	43	30	42	29	48	70	408
血中濃度	5	20	24	11	17	13	17	11	21	29	168
血液ガス	0	6	8	3	8	7	8	2	6	8	56
血液型	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
尿定性	5	21	27	12	17	12	11	7	19	28	159
尿沈渣	4	15	15	11	15	10	11	7	17	26	131
迅速検査	0	8	10	0	9	13	13	23	20	18	114
感染症	0	3	2	1	0	0	1	0	1	2	10
心電図	1	4	0	3	1	2	2	2	0	2	17
脳波	0	12	26	10	16	10	17	12	14	25	142
CV-RR	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

②院内 入院実績

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生化学	38	180	206	193	155	146	160	143	186	235	1642
血液学	36	179	194	191	150	144	156	139	177	229	1595
血中濃度	22	20	8	16	9	11	15	30	38	71	240
血液ガス	22	66	96	90	55	48	44	65	94	117	697
血液型	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
尿定性	28	30	25	28	19	19	18	17	39	44	267
尿沈渣	27	25	21	20	19	16	18	17	37	44	244
迅速検査	0	36	43	13	17	14	40	13	17	13	206
感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
心電図	27	20	4	2	2	3	2	1	1	4	66
脳波	1	3	0	2	4	2	0	3	3	3	21
CV-RR	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

③外注検査実績

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外 来	生化学等	9	52	59	39	44	31	36	23	44	55	392
	細菌	1	6	7	4	2	3	7	8	2	7	47
入 院	生化学等	37	76	108	115	62	56	68	69	121	151	863
	細菌	38	54	67	53	42	41	34	26	48	57	460

開所から電子カルテ及び検査システム導入し、検査受付から結果送信までの時間が短縮さ

れた。検査システムによる前回値チェックや内部精度管理がより迅速・正確に行えるため、機器の異常やクリティカルデータ報告に速やかに対処することが可能となった。

平成 28 年度後期より細菌検査依頼に対する、検出菌や耐性菌、材料別検出頻度など、検査課から感染症情報を発信し、施設の感染制御に寄与している。

また、受入検査項目の見直しを図り、テオフィリン血中濃度測定、マイコプラズマ抗体検査を廃止、新規項目としてマイコプラズマ抗原検査の導入を行った。更に 2 機種で測定していた CRP 検査の測定機を一元化し、検査試薬・コントロール血清・校正試薬における費用の節減化を図った。

ネットワーク関連においては、システム保護を目的に、検査部門システムサーバへ無停電電源装置 (UPS) を導入した。これにより不慮の停電や雷サージ等からサーバを保護し、災害対策の強化を行った。

(5) 放射線科

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	CT	0	2	0	8	0	1	1	1	4	0	17
	一般撮影	14	37	54	60	53	49	51	53	55	61	487
	一般移動	2	2	8	5	17	11	7	8	4	10	74
	透視撮影	0	9	4	13	8	11	8	12	3	10	78
	超音波	36	36	36	37	36	36	36	37	37	39	366
	歯科パントモ	2	2	5	2	2	1	0	0	1	2	17
	歯科移動	2	1	3	3	2	5	6	9	14	19	64
入所 入院	CT	3	30	23	18	17	17	8	12	54	64	246
	一般撮影	58	48	16	13	11	8	13	13	25	29	234
	一般移動	17	87	159	105	92	72	84	89	113	193	1011
	透視撮影	3	23	38	37	30	30	39	36	48	47	331
	超音波	0	1	5	2	5	8	4	7	17	15	64
	歯科パントモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歯科移動	5	2	4	1	3	1	2	3	8	11	40

(超音波は、外来はボトックスを含む)

想定していた CT の健診を行わなかったため、件数が予想の 1/2 だった。撮影には基本、技師 2 人で対応するようにしているため、放射線機器に対してのマンパワーは否めない状況にある。

体表 (手指) 被曝において技師 2 名が線量限度を超え、監督官庁に報告している。

CD-R 作成・取り込みが、わかる範囲で 143 件、オンコール対応は 15 件あった。

(6) 栄養課

①入所食数実績 及び その他

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
経口食	595	4,124	4,564	4,600	4,567	4,484	4,908	4,867	4,543	4,998	42,250
胃瘻食朝	0	0	0	0	0	0	0	19	91	165	275
胃瘻食昼	87	824	906	867	876	939	905	897	912	970	8,183
胃瘻食夕	0	1	65	142	208	207	186	168	262	405	1,644
経管栄養食	1,929	13,549	14,984	14,509	15,167	14,715	15,291	15,267	14,067	14,966	134,444
日中一時支援	-	-	2	3	3	5	4	2	2	3	24
嚥下外来食	0	0	1	1	0	0	2	1	1	1	7

7月以降、占床率アップに伴い食数増。3月時点で、胃瘻栄養の「ミキサー食」実施者は、長期入所が28名。短期は55名、そのうち朝食実施者は3名、夕食実施者は24名で増加傾向にある。

②特別治療食

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加算食	-	1,051	1,044	1,029	1,074	1,002	1,039	1,098	975	985	9,297

6月は入院時食事療養Ⅱで加算適応なし。7月以降は食事療養Ⅰの届出により加算適応あり。

③外来栄養指導実績

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加算	1	3	1	3	1	5	2	3	3	0	22
非加算	0	1	1	2	2	0	0	0	0	1	7

④職員食

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
喫食数	488	729	893	792	798	729	730	762	764	864	7,549

4 施設管理業務

(1) 管理課

①人材育成の推進

人事考課制度の本格導入とともに、新入職員向けの採用時研修の充実や職場のOJT、プリセプター制度と合わせて、チームケアを構築するための人材育成を推進している。

②収支構造の精査

収支については、予算に比べて医療事業収入の減が大きいが、下半期より占床率増加のため福祉収入等の増加をさせた。人件費及び事業費の支出が予算より低くなっているため、予算収支差額はプラスとなっている。

③委員会・部会

医療・福祉の現場における安全管理やチームワーク強化のため委員会や部会を構成し、委員会ごと部会ごとに目標への取組がスタートした。

④医薬品、医療衛生材料の適正使用・購買の推進

経費の効率化及び削減対策として、医薬品の単価契約や医療衛生材料のSPD化をスタートした。また、購買委員会を通じて、コストマネージメントを意識した備品・機器選定を実施している。

(2) 医事課

入院は、6月に特別入院基本料（5,840円）から始まった入院料が、9月より障害者施設等入院基本料（13,290円、1階・2階）、特殊疾患病棟入院料（16,250円、3階）となった

(3) 地域連携

①ボランティア受け入れ

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人実数	-	2	10	5	25	7	9	18	16	20	112
延べ人数	-	3	15	14	41	12	11	43	43	50	235
団体実数	-	1	2	1	6	1	4	1	2	3	21
延べ人数	-	6	13	4	46	10	17	11	11	24	142

主な活動内容

- ・「とちのき祭」の催し物等での活動、利用者さんの付き添い、
- ・利用者の私物洗濯の仕分け作業
- ・利用者の理美容、成人式の着付け及びメイクアップと写真撮影、アルバム作成
- ・花壇の草取り、花苗や球根植え
- ・衣類の修繕、クッションカバーなどの製作
- ・棟内での読み聞かせやドライヤーかけ
- ・クリスマス会でのコンサート
- ・利用者の付き添い（一緒に活動に参加）
- ・日中活動室でのピアノ演奏、ハンドネイル
- ・アロマセラピー
- ・民謡コンサート

②その他

地域連携事業として、「港南台支えあいネットワーク」の『ふれあいデー』にホールを貸し出し、開催に協力した。当日は地域の方を含めて100名を超える方の参加があり、今後もこのようなイベントを開いて欲しいという地域の方の意見があった。

「港南親子の会」の『ライアー音浴と手のひらアートペイント』でホールの利用があった。利用者さんの参加は少なかったが、地域の親子が10数組参加し、この施設に対して理解していただいた。

他に「嬉多國」の『民謡コンサート』があった。これも地域交流として呼びかけ、利用者さんにご家族様、地域の方合わせて50人弱の参観があり、特に地域の方に好評だった。

IV 地域療育センターあおば

平成28年度は開設10年目の節目の年を迎え、主に青葉区在住の発達に遅れのある、あるいは障害のあるお子さんとそのご家族に対する相談、診療、専門職による個別指導、早期から通園までの療育、地域への訪問支援、児童発達支援事業所、区の子育て支援事業の受託、地域ニーズ対応事業、保育所等訪問支援事業や障害児相談支援事業（利用計画書作成・モニタリング）を含め、事業内容の拡充を図りつつ順調に運営されている。

各部署の実績は以下のとおりである。

人員体制

平成28年度 3月末時点 (人)

職種	所長	管理課長	園長	事務員	栄養士	保育士	児童指導員	看護師	P T	O T	S T	臨床 心理士	S W	検査 技師	医療 事務	計
常勤	1	1	1	2	2	16	14	3	2	5	4	6	8			66
非常勤				2		2	3	2	1	1	1	1	1		3	17

※育休者4名を含む

1 診療課

(1) 医師診察

新患数は、未就学児が264人、学齢児が105人の合計369人で、診療枠の調整を行ったため、昨年度を37人下回った。しかしながら学齢児の受診が増え、再診も未就学児が2,068人、学齢児が1,748人で、新患・再診の総合計は4,000人以上を維持している。

なお、初診待機月数は2か月を下回り、市からの通達である『3か月未満』を維持している。

診療件数

	科目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計	前年同期 (増減)
			新規診療													
発達精神科	未就学		10	8	3	10	10	13	5	5	8	7	11	7	97	168(-71)
	学齢		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(±0)
リハビリ科	未就学		1	1	2	1	2	1	0	0	1	1	2	2	14	27(-13)
	学齢		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3(-2)
児童精神科	未就学		4	6	3	1	3	4	2	3	1	2	3	1	33	30(+3)
	学齢		17	8	8	10	12	6	7	8	9	6	6	6	103	90(+13)
小児神経科	未就学		0												0	0
	学齢		0												0	0
小児科	未就学		10	5	11	3	3	4	7	8	3	5	4	2	65	41(+24)
	学齢		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(±0)
耳鼻科	未就学		3	5	4	3	4	6	6	4	5	6	3	6	55	47(+8)
	学齢		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0(+1)
摂食外来	未就学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(±0)
	学齢		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(±0)
小計	未就学		28	25	23	18	22	28	20	20	18	21	23	18	264	313(-49)
	学齢		17	8	8	11	12	6	7	8	10	6	6	6	105	93(+12)
	計		45	33	31	29	34	34	27	28	28	27	29	24	369	406(-37)
再診療																
発達精神科	未就学		78	128	150	99	106	69	106	120	62	50	77	69	1,114	1413(-299)
	学齢		5	10	18	21	11	6	6	4	14	4	5	6	110	88(+22)
リハビリ科	未就学		29	46	30	35	28	39	38	47	30	29	28	39	418	470(-52)
	学齢		13	25	21	24	17	1	16	4	6	21	16	1	165	187(-22)
児童精神科	未就学		7	8	6	11	8	22	7	7	7	16	6	22	127	144(+17)
	学齢		85	95	134	131	114	109	131	130	99	149	143	109	1,429	1337(+18)
小児神経科	未就学														0	0
	学齢														0	0
小児科	未就学		19	20	17	17	21	25	17	21	15	34	29	25	260	182(+78)
	学齢		5	2	7	2	3	0	0	0	2	0	0	0	21	38(-17)
耳鼻科	未就学		10	10	12	13	11	12	11	7	9	7	14	12	128	124(+4)
	学齢		8	0	1	0	4	0	0	0	0	0	1	0	14	1(+13)
摂食外来	未就学		0	0	4	0	3	0	5	0	2	0	4	0	18	23(-2)
	学齢		0	0	1	0	2	0	1	0	1	0	1	0	6	6(+3)
小計	未就学		143	212	219	175	177	167	184	202	125	136	158	167	2,068	2356(-288)
	学齢		116	132	182	178	151	116	154	138	122	174	166	116	1,748	1657(+91)
	計		259	344	401	353	328	283	338	340	247	310	324	283	3,816	4013(-197)
総計			304	377	432	382	362	317	365	368	275	337	353	307	4,185	4419(-234)

(2) 訓練等

理学療法、作業療法、言語聴覚療は、いずれも20分1単位であるが、おおむね1人に3単位60分で訓練を実施した。心理指導は年間件数が増え、学齢児の心理療法件数が前年を更に上回った。通園施設利用にいたる前の低年齢児を中心に、外来グループとして集団療育活動を行った。肢体不自由や運動発達遅滞では、0歳から2歳程度の児童が対象で、1グループ、集団活動を通年で実施した。理学療法士・作業療法士が中心になり、相談課職員・臨床心理士もグループにはいり、精神発達面と保護者の心理的サポートに協力した。年間で17名が利用した。

検査・訓練等

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	前年同期(増減)	
機能訓練	理学療法	未就学	107	108	102	98	79	127	119	107	99	99	127	91	1,263	1510(-122)
		学齢	58	69	78	74	67	71	55	62	54	81	74	63	806	498(+308)
	作業療法	未就学	219	194	242	281	221	259	240	244	222	252	221	230	2,825	2772(+53)
		学齢	45	27	43	58	61	41	58	52	50	51	56	60	602	361(+241)
	言語療法	未就学	119	161	218	201	159	186	202	221	192	175	185	229	2,248	2290(-42)
		学齢	36	33	29	33	42	31	39	36	36	41	43	45	444	299(+145)
聴力検査	未就学	22	36	32	26	28	26	28	35	29	25	21	31	339	310(+29)	
	学齢	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0(+2)	
合計	未就学	467	499	594	606	487	598	589	607	542	551	554	581	6,675	6882(-207)	
	学齢	139	129	150	166	170	143	152	150	140	173	173	168	1,853	1158(+695)	
計		606	628	744	772	657	741	741	757	682	724	727	749	8,528	8040(+488)	
心理指導	心理療法	未就学	134	247	304	295	269	279	268	310	313	278	323	250	3,270	3192(+78)
		学齢	59	76	100	93	78	101	104	98	104	102	91	105	1,110	852(+258)
	(うち心理検査)	未就学	28	25	40	44	51	37	37	40	31	30	34	35	432	457(-25)
		学齢	11	11	7	11	18	16	14	13	18	17	18	15	169	127(+42)
臨床検査	脳波検査	未就学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1(+1)
		学齢	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3	4(-1)
	脳波聴検	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(±0)
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(±0)
	合計	未就学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1(+1)
		学齢	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3	4(-1)
計		0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	5	5(±0)	
栄養相談	未就学	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	41(-35)	
	学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1(-1)	
補装具クリニック		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	12	

2 通園課

(1) 通園課の概要

児童出席状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	前年同期
設定日数	福祉型	474	880	1022	907	560	926	697	901	737	781	876	636	9397	9926
	医療型	192	372	410	361	225	374	298	368	289	306	343	239	3777	3471
	計	666	1252	1432	1268	785	1300	995	1269	1026	1087	1219	875	13174	13397
出席日数(実数)	福祉型	437	785	917	817	462	822	623	779	662	689	762	573	8328	8948
	医療型	156	301	358	307	170	312	246	298	239	241	258	192	3078	3026
	計	593	1086	1275	1124	632	1134	869	1077	901	930	1020	765	11406	11974
出席率	福祉型	92.2%	89.2%	89.7%	90.1%	82.5%	88.8%	89.4%	86.5%	89.8%	88.2%	87.0%	90.1%	88.6%	90.1%
	医療型	81.3%	80.9%	87.3%	85.0%	75.6%	83.4%	82.6%	81.0%	82.7%	78.8%	75.2%	80.3%	81.5%	87.2%
	全体	89.0%	86.7%	89.0%	88.6%	80.5%	87.2%	87.3%	84.9%	87.8%	85.6%	83.7%	87.4%	86.6%	89.4%
在籍児数/クラス担任職員数	在籍児	108	110	109	109	109	109	109	109	108	108	108	108	108	113
	職員数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	計	128	130	129	129	129	129	129	129	128	128	128	128	128	133

通園課は福祉型児童発達支援（定員60人）と医療型児童発達支援（定員30人）で構成され、職員は園長ほか支援職24人（保育士13人<嘱託1人>、児童指導員11人<嘱託1人>）であった。年間を通して、福祉型児童発達支援を利用した児童は75人、医療型児童発達支援では35人の利用児があった。原則2歳児は親子通園で、3・4・5歳児は単独通園と親子通園を併用して運営した。例年同様の10教室設定であった。また、医療型児童発達支援のクラスでは、重症心身障害児から精神運動発達遅滞レベルまでの2歳児に週一回のクラスを編成した。そのため、1教室ではあるが、週2+週2+週1（午前）の3クラス体制で対応した。

利用児のきょうだい児の一時預かりを引き続き、運営委員の保護者と協力して実行した。

(2) 28年度の療育外の主な取り組み

①療育機能単位で4グループに分けて、グループごとにチーフを置き、各クラスの課題の

検討をして、クラス間の情報交換を行えるように設定した。

②主任をフリーにして、担任が療育目標や集団プログラム、個別対応などの相談ができるようにした(なお、主任は2名体制であるが1名産休中)。

③人材育成計画を設定して、職員の資質向上のため、経験年数に沿って研修を組んだ。

④例年同様、子どもの療育と保護者支援を個別と集団で系統的に実施した(保護者勉強会、療育講座、面談など)。

⑤防災訓練を月1回、登園曜日にあたっている園児と保護者の参加のもと実施した。学校との合同の避難訓練も行った。

⑥黒須田小学校との相互理解を深めるため、教師を対象にセンターの見学会と秋休みに通園職員の学校見学会を開催し、交流を深めた。

3 相談課

平成28年度の初診相談件数は、昨年度の406件を若干下回り369件であった。これは、年度の後半の相談件数が減少したことによる。初相談の主訴はここ数年来低年齢児の保護者による申し込みがインターネット等の情報ツールより増えたこと、そして学齢児の相談が増えたことに大きな変化はない。

なお、28年度より外来グループを相談課に位置付け、より初期の対応が充分行き届くよう体制を強化した。

(1) 初回面接相談件数と初診件数

初回面接相談設定数	397 枠
初回面接相談実施件数	304 件
内 初診導入件数	235 件
初診件数	369 件
内 発達精神・児精等	298 件
耳鼻科	56 件

初回面談は27年度とほぼ同数の面談枠数を設定した。年度の後半には若干の減少傾向を示し、面談枠に入らない状況が目立った。

なお、初診導入件数に比して発達精神・児精等の件数が上回っている理由は、当初から電話によるインテーク相談を経て初診に入っている利用者があるからである。

(2) 巡回相談事業

	設置数	延訪問園数	対象児数
区内幼稚園	21 園	29 園	245 人
区内保育園(保育室・無認可含む)	81 園	74 園	515 人

保育園数81園内、認可保育園が56園、無認可園・横浜保育室が25園となっている。対象児は、概ね当センター未利用児である。(利用児に関しては保育所等訪問支援で対応)。

(3) 障害児相談支援事業（利用計画書作成件数）件

4月	5月	6月	7月	8月	9月
34(34)	12(8)	21(14)	12(10)	20(8)	16(7)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
16(5)	20(11)	12(7)	17(6)	12(8)	6(4)
*モニタリング				合計	198 (122)
4月:131	10月:112				
6月:140	11月:112				
9月:145	1月:132	計 322			

障害児相談支援は、28年度当センター児童発達支援センター及び児童発達支援事業所の利用件数（約150件）は前年度計画作成のため入っていない。カッコ内は新規計画作成、以外は計画変更件数。前年度に比べ、当センター以外の児童発達支援事業所利用は30件ほど増加している。モニタリングの内、当センター児童発達支援センター及び児童発達支援事業所利用児で252件実施した。

(4) 保育所等訪問支援事業 件

4月	5月	6月	7月	8月	9月
3	6	18	10	10	6
10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	12	4	6	7	2
				合計	94

保育所等訪問支援は、当センター利用実績のある「個」のお子さんへの支援を行うもので、前年度85件から9件の増加となった。

(5) 学校支援事業

実支援学校数	25校
延訪問件数	50件
内 コンサル	40件
研 修	10件

青葉区内公立小学校31校内25校について学校支援を行った。
(過去5カ年では31校中30校の実績がある)

(6) 地域ニーズ対応事業

① 保護者のためのこころのケア相談

面接	のべ28 (25) ケース
電話相談	(17) ケース
こころのケア カンファランス回数	19 (15) 回
カンファ検討ケース数	のべ 24 (28) ケース
ケース相談数	3 ケース

センター利用児の保護者の中で、子どもの発達や成長に関して不安や悩みを抱える方や日頃のストレスによってメンタルヘルスが気になる方を対象に、精神保健福祉士が月2回定期的に来所し保護者支援を行った。

② あおばであそぼ（ひろば事業）人

実施日	参加者内訳			年齢内訳	
	新規参加	2回目～	計	0～2歳	3～5歳
4月	1	2	3	1	2
5月	1	3	4	3	1
6月	4	3	7	4	3
7月	3	5	8	4	4
8月	0	4	4	2	2
9月	0	5	5	3	2
10月	3	3	6	5	1
11月	1	6	7	3	4
12月	0	2	2	2	0
1月	2	4	6	3	3
2月	3	3	6	5	1

参加者内訳では、4月12月の参加者は少ないが、新規・継続合わせて平均5名程度がコンスタントに参加している。

新規導入時期の内訳では、③利用児(外来)はくろーばーへの移行前後、又は外来個別フォロー中のケースが主である。継続利用になっているのは、1歳児が2名おり、最大11回利用した。⑤その他については、福祉保健センターからの紹介で来所したケース。事前面談来所時または初回電話相談時にケースへ案内し、その後初診にはつながらなかったが「あおばであそぼ」の継続的な利用となった。

(7) 外来グループ事業

①たんぽぽグループ（知的・発達系初期療育グループ）

クール	グループ名	対象	期間
第1クール	たんぽぽ水	4・5歳児	5/11～6/8
	たんぽぽ木	3歳児	5/12～6/9
	たんぽぽ金	5歳児	5/13～6/10
第2クール	たんぽぽ水	4歳児	7/27～8/31
	たんぽぽ木	3歳児	7/28～9/8
	たんぽぽ金	2・3歳児	7/29～9/9
第3クール	たんぽぽ水	3・4歳児	10/26～11/30
	たんぽぽ木	3・4歳児	10/27～12/1
	たんぽぽ金	5歳児	10/28～11/25
第4クール	たんぽぽ水	5歳児	1/25～2/22
	たんぽぽ木	2・3歳児	1/26～2/23
	たんぽぽ金	2・3歳児	1/27～3/3

療育センターを利用してまだ日の浅い主に初期の親子を対象とした週1回午前中の療育グループ。各グループ6人で1クール5回コースで実施した。

5歳児グループに関しては、就学支援も踏まえ保護者にモニター越しで療育の参観をしてもらうなど一定の工夫を行った。

②くろーばー（初再診待機待ち療育グループ）

療育センターの利用を開始して、初診を終えた後のサービス等の利用待ちの利用者に対して、保護者からのエントリー方式を用いて「参加型療育サービス」を実施した。午前の部は未就園児、午後は就園児を対象としている。例年より午後の利用希望が多く、月3回の開催とした。

<午前の部>

学年齢	申し込み人数	参加人数
2歳児	36	32
3歳児	6	5
合計	42	37

<午後の部>

学年齢	申し込み人数	参加人数
2歳児	1	1
3歳児	28	25
4歳児	12	10
5歳児	10	9
合計	51	45

(8) 受託事業

ぱんだグループ 人

実施期間	参加児数
1回目(5/26～7/21)	5
2回目(10/13～12/8)	12
3回目(12/9)	12
合計	29

「ぱんだグループ」は、青葉福祉保健センターからの受託事業として、平成25年度から準備を重ね、平成26年度の試行実施を経て、27年度に本格実施した。

担当スタッフは、保育士2-3名、臨床心理士1-2名、ソーシャルワーカー1-2名で運営し、区福祉保健センター保健師との連携しながら子育て支援に取り組んだ。

4 こども支援室こだち

平成28年度は前年度同様48名定員で療育を開始し、安定したサービス提供を行った。一人ひとりの療育ニーズに応えるため、年度開始より1名に対して個別療育サービスを行い、また、保護者の就労要件により定期的な集団療育の利用が難しい利用児1名に対して、個別療育サービスを実施した。

(1) 児童発達支援事業所

①集団療育

クラス名	登園日数/週	曜日	4歳	5歳	合計
けやき①クラス	1日	月		6人	6人
けやき②クラス	1日	木		6人	6人
かえで①クラス	1日	火	2人	4人	6人
かえで②クラス	1日	水		6人	6人
かえで③クラス	1日	火	3人	3人	6人
かえで④クラス	1日	水		6人	6人
かえで⑤クラス	1日	木	3人	3人	6人
かえで⑥クラス	1日	金		6人	6人
合計			8人	40人	48人

※なお、48名利用児に対して6月～12月にかけて幼稚園・保育園に訪問を実施した。

②個別療育

クラス名	登園日数/月	曜日	4歳	5歳	合計
どんぐりクラス	2日～3日	月～金		2人	2人

※1名は、年度当初の5月～3月まで月3回、1名は、10月～3月まで毎週1回実施した。

5 管理課

(1) 運営状況

センターあおばの所要経費は、横浜市（こども青少年局）からの補助金と通園施設収入、診療報酬および相談支援事業収入により運営されている。

年2回の運営協議会にて28年度の事業報告と29年度の事業計画を報告し、センターの運営と青葉区内における障害児の療育の推進について協議を行った。

(2) 給食

通園利用児及び通園職員等に対して、昼食提供を行った。センター管理栄養士は、献立作成、栄養相談、調理受託者の管理の他、食物アレルギー、ケトン食にも対応し、給食の適切な運営を行った。平成28年度の給食提供数は以下のとおりである。

平成28年度給食提供数集計		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
月															
日数		10	19	22	20	10	20	16	20	16	17	19	13	202	
肢体	園児	12	26	26	25	14	20	16	23	19	17	18	10	226	
	初期食	27	51	63	47	25	49	35	44	32	32	35	27	467	
	中期食	14	46	58	50	24	49	38	48	42	42	45	29	485	
	後期食	36	95	111	96	54	98	70	96	68	71	79	59	933	
	ケトン食	8	16	21	18	10	16	13	16	14	12	7	11	162	
	アレルギー食	5	16	19	12	7	16	11	15	16	14	16	10	157	
	幼児食	10	22	33	23	16	26	14	28	22	26	26	19	265	
	指導食(通園課)	65	144	167	142	81	162	115	140	111	126	130	90	1473	
	指導食(上記以外)	0	2	9	5	8	3	1	2	0	1	0	0	31	
	検食	10	19	22	20	10	20	16	20	16	17	19	13	202	
	その他	0	0	0	0	2	0	5	11	15	9	8	8	58	
	小計	園児	122	291	353	291	160	294	213	290	229	231	245	178	2897
		指導食他	65	146	176	147	91	165	121	153	126	136	138	98	1562
	知的	園児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
初期食		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中期食		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
後期食		4	9	12	10	4	12	8	8	9	10	10	5	101	
ケトン食		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アレルギー食		6	10	16	15	9	14	10	13	13	10	10	8	134	
幼児食		327	768	892	794	412	797	595	749	620	665	688	524	7831	
指導食(通園課)		130	314	358	327	155	316	248	320	259	288	297	218	3230	
指導食(上記以外)		50	77	132	116	56	133	85	132	90	94	136	90	1191	
検食		10	19	22	20	10	20	16	20	16	17	19	13	202	
その他		43	85	112	196	49	92	79	237	66	55	103	65	1182	
保存食		20	38	44	40	20	40	32	40	32	34	38	26	404	
小計		園児	367	844	986	879	455	883	661	830	690	736	765	576	8672
		指導食他	223	476	602	639	260	541	412	689	415	437	536	373	5603
合計	園児	489	1135	1339	1170	615	1177	874	1120	919	967	1010	754	11569	
	指導食他	288	622	778	786	351	706	533	842	541	573	674	471	7165	
	総合計	777	1757	2117	1956	966	1883	1407	1962	1460	1540	1684	1225	18734	

(3) 通園バス

通園バスは、民間会社に委託し、中型バス3台により1ルート1時間程度の運行時間を目安に3ルートで運行した。

V たっちほどがや運営事業

開所7年目の平成28年度の重点事業は、①入所者の外出支援の強化、②短期入所受け入れの強化、③入所者の高齢化への対応（看取りの実践）、④ユニットごとのニーズに即した取り組み（ノーリフトポリシー、自治会的活動等）⑤たっちいずみの開所準備だった。

以下、その要点を報告する。

① 入所者の外出支援の強化

交通の便が悪く車イスには起伏も多い当施設は生活が施設内で完結し、他施設に比べ社会から隔離されてしまう傾向が強い。外出支援を増やすため常勤嘱託運転員を「外出支援コーディネーター」に任命しコーディネーターを中心に年度当初に目標数値を決める取り組みを行った。その結果、前年度一人当たり年間外出6.4回を年間10.4回まで増やすことができた。

② 短期入所の強化

短期入所ニーズの激増に伴い、多くの受入れを進めるために短期相談窓口を1名から2名体制にして相談待機者を減らすとともに、ユニットでの受入れ体制を広げる複数の工夫（当日受入れ面談への職員参加、短期専用補助パート職の導入、居室整備の効率化等）を行い、前年比のべ約200名増、稼働率80%→90%まで引き上げることができた。

③入所者の高齢化への対応（看取り）

入所者のうち50代以上が占める割合が40%を超えた。年々、高齢化による身体機能の低下への様々な配慮や対応が求められるが、その象徴的な出来事として「最後まで親しい人々に囲まれた最期」を望む方の1年にわたる穏やかな看取りを、ご家族・主治医（近隣のクリニック）とともに初めて行うことができた。

④ノーリフトへの取り組みなど（ユニットごとのニーズに沿った対応）

前年度利用者のニーズにそってユニット再編成を行った結果、自立ユニットでは利用者会議が始まり、今まで職員が決めていたことを少しずつ利用者が話し合っ決めてる習慣が始まった。また重心中心のユニットでは、車イスから床に降りて過ごす方が増えたため、職員の腰痛が深刻になった。これを契機に横浜市4施設で普及を推進しているノーリフトポリシー研修に参加し、リフトとは利用者のQOL向上（側湾障害予防）と職員の腰痛予防の両立を図る二重の効果があることから、厚生労働省の補助金を活用し施設へのリフト導入を開始した。

⑤たっちいずみの開所準備

生活介護通所は平成28年度でほぼ満杯、しかしその後も重度重複障害のある生徒の通所は不足し続けるため、平成27年度から新たな通所施設用地を関係者の協力を得て探した。その結果、泉区上飯田に土地（賃貸）が見つかり、平成28年度は賃貸契約調整、建築計画、人事異動計画、採用活動、地域関係機関調整、利用者募集等の開所準備をプロジェクトを作って実施した。建物は建築許可がギリギリになり平成29年1月に着工3月末竣工し、4月3日開所した。

人員体制

(3/31)

職種	所長	管理課長(兼)	入所課長	通所課長	事務員	栄養士	生活支援員	運転員	看護師	相談員	当直員	洗濯員	計
常勤	1	(1)	1	1	2	1	56	1	4	2			69
非常勤					1		15	3	2		3	2	26

1 施設入所支援事業（定員暫定 43 名）

利用状況 ※障害程度区分 平均：5.8

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	1289	1328	1288	1328	1320	1265	1297	1246	1300	1266	1195	1299	15333
28年度	1258	1299	1265	1321	1314	1262	1323	1251	1306	1304	1203	1328	15346
差異	-31	-29	-23	-7	-6	-3	26	5	6	38	8	29	13

のべ利用者数は昨年度よりも13人多く、利用率は97.8%であった。(昨年度97.7%)

2 短期入所事業（定員暫定 7 名）

利用状況（実績） ※登録者数 290 人（昨年度 252 人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	175	172	172	190	185	181	187	161	147	155	149	184	2058
28年度	174	171	178	192	191	190	193	194	220	207	173	199	2281
差異	-1	-1	6	2	6	9	6	32	73	52	24	15	223

- ・新規申し込みは、できるだけ受け入れるように努め登録者は38(22)名増加した。
- ・他施設で短期入所を縮小したことから緊急度の高い申し込みが増加した。介護家族の病气などまったなしの事例は新規登録者の8割を占めた。
- ・1年間の稼働率は89.3%（昨年度80.3%）であった。

3 生活介護事業・通所部門（定員 20 名）

利用状況（実績） ※障害程度区分平均 5.9 事業日数 261 日（261）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	383	349	413	418	365	388	391	372	379	336	356	421	4571
28年度	461	438	457	422	435	432	446	429	430	378	426	474	5228
差異	78	89	44	4	70	44	55	57	51	42	70	53	657

- ・新規利用の受け入れをすすめた結果、昨年度よりも657人（前年度702人増）の利用者

増となった。(7月は港南開所に伴う入所移行があった)

- ・出席率は82.9%であった。

4 外出支援 (散歩、受診は除く。車、公共交通機関を使つての外出)

	ちょこっと外出	活動外出・週末外出	合計
27年度	117	157	274
28年度	124	322	446
差異	7	165	172

5 日中一時支援事業 (定員3名)

通所者を主な対象に月平均6名程度の利用で推移した。

6 その他

- ・施設全体の取り組みとして、家族会と連携し、初の入所者バス旅行(京王プラザホテルでフレンチを食べる旅行)を開催した。
- ・委員会(リスクマネジメント・感染、サービス向上・虐待防止、研修・教育、給食・栄養、行事・広報、通所活動検討、ボランティア)を設け事業推進に向けた取り組みを行った。また、施設活動の情報提供をさかんにするため、ホームページ委員会を立ち上げ毎月1回、「最近のたっち」のコーナーで写真更新するように努め、家族、関係者への情報発信を行った。

VI ヘルパーステーションまいはーと運営事業

1 人員体制

平成 28 年度は常勤職員 4 名（うちサービス提供責任者 3 名）と嘱託職員 3 名、登録ヘルパー 20 名でスタートしたが、港南開設のため 7 月に職員 1 名が港南に異動配属となり、その後の補充ができずに運営、また年度途中で嘱託職員、登録ヘルパーの退職があり広告等で募集したが採用ができず結果、新規の訪問依頼に対応できない状況があった。

2 利用者の状況

センター港南へ長期入所になった方が 6 月に 1 名、7 月に 3 名契約終了となった。新規利用契約は 8 月 1 名（通院介助） 9 月 1 名（身体介助） 12 月 1 名（身体介護） 1 月 1 名（身体介護・移動介護）と、利用再開 3 月 1 名（移動介護）となっている。有償サービスについては、7 月・8 月は港南入所者の訪問は入所直後のため見合わせ、9 月～10 月の期間のみサービスを行なった。（冬季は感染症の観点から休止とした）

3 稼働状況

以上より長期入所による利用者減、常勤職員異動による対応職員不足により 6 月以降は訪問件数・訪問時間が減、また 1～3 月にかけて利用者の体調不良（入院等）によるキャンセルが発生し、結果「稼働状況表」の通り、訪問者数で前年度比 8 % 減、訪問時間数で 5 % 減となった。

今後、利用者サービスの向上を図るにはヘルパーの確保が依然として課題となっている。

<稼働状況>平成 28 年度

事業報告資料(居宅・移動・有償サービス合計数)														
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
訪問者数	27 年度	76	77	75	83	82	76	86	82	82	82	79	82	962 名
	28 年度	82	83	83	71	67	65	76	74	71	69	65	76	882 名
訪問件数	27 年度	610	567	665	700	630	589	661	609	623	580	624	700	7558 件
	28 年度	679	819	821	763	715	711	779	764	766	673	694	798	8982 件
訪問時間	27 年度	748	737	829	871	790	734	856	797	800	765	788	880	9595 時間
	28 年度	800	819	821	763	715	711	779	764	766	673	694	798	9102 時間

Ⅶ 保育室ひかり運営事業

(1) 人員体制

保育士 11名 (園長1名・非常勤10名)

調理員 2名 (非常勤2名)

(2) 利用状況

認可移行2年目を迎え、大きな問題もなくこの1年を過ごすことができた。昨年に比べて児童数が延べ16人減少しているため130万円程度減収となった。今後は研修参加等で保育の質を高めていく努力を続けることで、安全安心な保育をしているという実績を作り、利用者確保につなげていければと考える。

利用児童数 (定員19人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (月平均)
0歳(人)	0	0	0	0	1	3	3	3	3	3	3	3	22 (1.8)
1歳(人)	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	83 (6.9)
2歳(人)	7	8	8	8	9	9	6	6	6	6	6	6	85 (7)
計	13	15	15	15	17	19	19	16	16	16	16	16	190 (15.8)
一時(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	7

年間利用児童数 (定員19人) 26年度までは定員20人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (月平均)
28年度	13	15	15	15	17	19	19	16	16	16	16	16	190 (15.8)
27年度	12	16	16	16	18	18	19	19	19	18	18	17	206 (17.1)
26年度	9	10	11	11	13	14	15	15	15	15	15	15	158 (13.1)

Ⅷ 病児保育室あさひ運営事業

(1) 人員体制

保育士	4名（常勤1名・非常勤3名）
看護師	2名（非常勤2名）

(2) 利用状況

平成28年度の延利用者数は801人である。病児保育室あさひの1日定員は6名だが平成28年度の1日平均利用人数は3.3人となった。昨年度より0.4人増えている。

今年度は100万円程度かけて部屋のリフォームを行った。2部屋にかかっていた窓を部屋毎に設けて感染防止を図り、換気扇やコンセントを新しく設置することで、利用者が快適に過ごせるように保育環境を改善した。今後は水回りのリフォーム及び給食サービスなどについての検討を継続していきたい。

また、新規登録者確保については、近隣保育施設にパンフレット等を置いてもらい、利用者への登録呼びかけを依頼していく予定である。

登録・利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	8月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数(日)	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	20	22	243
登録者数(人)	43	31	7	23	14	11	16	6	3	10	22	26	212
延利用者数A	45	31	76	86	53	76	74	67	56	66	90	81	801
加算利用者数 (A-20人)	25	11	56	66	33	56	54	47	36	46	70	61	561

登録者数、延利用者数の推移

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
登録者数	221	217	187	177	190	219	212
延利用者数	636	674	765	680	806	728	801